

■主なイベントの詳細

○「世界の双眼鏡・望遠鏡が勢ぞろい」

- ・内容：ケンコー、コーワ、ニコン、ビクセンをはじめとして、世界各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。
- ・開催日時：11月20日（土）・21日（日） 午前9時30分～午後4時30分
- ・場所：自然史博物館前 ポーチ
- ・参加費：無料

○日本ワイルドライフアート協会主催

「日本ワイルドライフアート協会関西地区展 『いきもの描いてますー』」

- ・内容：自然の中で生きる野生動物の生態を、芸術的な感受性を介して描き出そうとする作家達による作品展です。関西周辺の作家10人の作品が、約50点展示されます。
- ・開催日時：11月20日（土）・21日（日） 午前9時30分～午後4時30分
- ・場所：自然史博物館 情報センター2階 ネイチャーホール
- ・参加費：無料

○関西自然保護機構主催 シンポジウム

テーマ：「コウノトリの野生復帰を語る」

- ・講師1：大迫義人（おおさこ よしと）氏（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所）
- ・内容1：「幸せを運ぶ鳥コウノトリのイメージの崩壊」

幸せを運ぶ鳥として親しまれているコウノトリ。しかし、野生下では、何でも食べる、配偶相手を変える、隣の巣を襲撃する、死んだ雛を食べる、自分の子を遺棄するなど、市民にとって信じがたい行動を見せた。これらの行動の生物学的解釈を紹介し、彼らとの共生について考える。

- ・講師2：内藤和明（ないとう かずあき）氏（兵庫県立大学 自然・環境科学研究所）
- ・内容2：「豊岡盆地におけるコウノトリの野生復帰のための自然再生」

コウノトリの再導入に伴い、豊岡盆地では、人工巣塔の設置、水田魚道の設置やコウノトリ育む農法の推進、河川に浅場を造成する工事など、生息環境を整える取り組みが実施されてきた。本講演ではそれらを紹介し、コウノトリの野生復帰のための自然再生について考える。

- ・開催日時：11月21日（日） 午後1時～午後3時30分
- ・場所：自然史博物館本館講堂
- ・定員：250名
- ・参加費：無料
- ・申し込み方法：当日先着順

○日本野鳥の会大阪主催 記念フォーラム

テーマ：「残せるか チュウヒの聖地を 大阪に ー湿地・草原の生物多様性の創造と保全のためにー」

- ・講師1：浦 達也（うら たつや）氏（財団法人日本野鳥の会自然保護室）
- ・内容1：「日本におけるチュウヒの生息状況と保護の課題」
- ・講師2：平野伸明（ひらの のぶあき）氏（つばめプロ・映像作家）
- ・内容2：「チュウヒのくらし 映像&トーク」
- ・開催日時：11月20日（土） 午後1時～午後3時40分
- ・場所：自然史博物館本館講堂
- ・定員：250名
- ・参加費：無料
- ・申し込み方法：当日先着順

○関西自然保護機構主催 COP10 報告会

テーマ：「速報 COP10 ではなにがおきていたのか、これからの取り組みにむけて」

- ・講師：道家哲平（どうけ てっぺい）氏（日本自然保護協会/IUCN-J 事務局）
- ・開催日時：11月21日（日） 午前10時30分～午前12時
- ・場所：自然史博物館本館講堂
- ・定員：250名
- ・参加費：無料
- ・申し込み方法：当日先着順

○谷口高司鳥絵工房「谷口高司のタマゴ式鳥絵塾」

- ・講師：谷口高司（たにぐち たかし）氏（谷口高司鳥絵工房）
- ・内容：野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。
- ・開催日時：11月20日（土）・21日（日） 1日3回程度（所要時間約45分）
- ・場所：自然史博物館 集会室
- ・定員：各回30名
- ・参加費：700円（画材代）
- ・申し込み方法：当日先着順